

## 優良住宅部品認定基準「太陽熱利用システム」等を改正しました

2025年12月1日

一般財団法人ベターリビング

一般財団法人ベターリビングは、優良住宅部品認定基準（以下「BL 認定基準」という。）「太陽熱利用システム」他 2 品目の改正を行い、2025 年 12 月 1 日付で公表・施行しました。

- ①「太陽熱利用システム」においては、一般社団法人ソーラーシステム振興協会基準及び関連 JIS 規格を引用し、国立研究開発法人建築研究所が提供する住宅版のエネルギー消費性能計算プログラム（以下「住宅版 Web プログラム」という。）に対応するパラメータ入力項目及び算出方法を追加しました。
- ②「便器」においては、暖房便座性能の要求性能について、関連 JIS 規格を引用し、便座保温方式及び便座瞬間方式の場合に分けた要求性能に変更しました。
- ③「ガス給湯機」においては、BL 認定基準の解説 **別紙 1**「潜熱回収機器のドレン配管施工方法について」に、ドレン配管を雨水の縦樋へ直接接合する方法を追加しました。

今回の改正に合わせ、『優良住宅部品（BL 部品）ガイドブック』も更新しましたので、ぜひご活用ください。

（<https://www.cbl.or.jp/blsys/guide/index.html>）



## 1 太陽熱利用システム

### 1) 住宅版 Web プログラムに対応するパラメータ入力項目及び算出方法の追加

現行の BL 認定基準は、住宅版 Web プログラムに対応する一部のパラメータの算出方法が明確になっていなかったため、一般社団法人ソーラーシステム振興協会基準及び関連 JIS 規格を引用し、住宅版 Web プログラムに対応するパラメータ入力項目及び算出方法を追加しました。当面は任意選択事項とし、認定企業の対応状況を確認のうえ、必須要求事項への切り替えを行うこととします。

＜パラメータ入力項目＞

- ・集熱部効率係数 ( $b_0$ ) 及び集熱部熱損失係数 ( $b_1$ )
- ・循環流量係数
- ・熱交換器伝熱係数
- ・基準循環流量
- ・熱媒の定圧比熱
- ・循環ポンプの連続運転時電力及び集熱判定時電力
- ・集熱器の集熱性能試験時における単位面積当たりの空気の質量流量



## 2) 用語及び用語の定義の見直し

住宅版 Web プログラム及び関連 JIS 規格と照合し、用語及び用語の定義の見直しを行いました。蓄熱槽及び貯湯部の用語を細分化し、「蓄熱タンク」及び「貯湯タンク」の用語を定義しました。

## 2 便器

### 1) 暖房便座性能の要求性能の見直し

暖房便座性能については、2024 年 12 月 16 日の BL 認定基準改正時に、BLT-WC02 「電熱式便座の表面温度試験」から JIS A 4424 : 2024 (家庭用及びこれに類する温水洗浄便座—性能測定方法—温水洗浄便座の一般的試験方法) の付属書 JB「実使用における暖房便座性能試験」に試験方法を変更しました。その際、JIS 規格に要求性能の記載がないことから、従来の BL 認定基準の要求性能のままで「各測定点で温度 30°C 以上 45°C 以下であること。」としていましたが、JIS A 4422 : 2024 (温水洗浄便座) 6.3 暖房便座性能に、便座保温方式と便座瞬間方式の場合に分けた性能が記載されていることから、要求性能の見直しを行い変更しました。

## 3 ガス給湯機 (解説)

### 1) BL 認定基準の解説 **別紙 1** 「潜熱回収機器のドレン配管施工方法について」の見直し

BL 認定基準の解説 **別紙 1** 「潜熱回収機器のドレン配管施工方法について」では、ドレン配管を雨水の縦樋へ直接接合する方法はこれまで想定していませんでしたが、認定企業からの要望があり、「潜熱回収型ガス給湯器等ドレン排水の取扱いについて」(平成 24 年 3 月 30 日 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課) の取扱いと整合させ、雨水の縦樋に直接接合する場合は、機器側への溢水に対する配慮を行うことを追記しました。

以 上